



平和な2学期を、みんなで過ごしましょう。

サンホセ日本人学校 校長 川上 隆

24日間の夏休みを終え、今日から2学期が始まります。みなさんにとってはどんな夏休みだったのでしょうか。家族とゆっくり過ごすことができ、良い思い出がたくさんできたことでしょうか。

さて、8月は日本にとって、忘れられない日が3つあります。8月6日と9日、そして15日です。それは、今から78年前の太平洋戦争です。1945年8月6日は広島に、9日は長崎に、人類史上初の原子爆弾が投下されました。そして今日15日は、終戦を迎えた日です。今年も記念式典が行われ、テレビ中継もされました。8月6日の広島の記念式典では、小学6年生の代表が「平和への誓い」を毎年発表しています。以下が全文です。

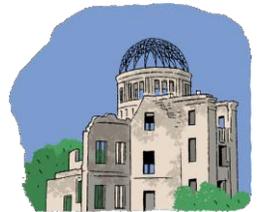
みなさんにとって「平和」とは何ですか。争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。身近なところにもたくさんの平和があります。昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分。耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。たった一発の爆弾により、一瞬にして広島は壊され、悲しみに埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年が経ちました。今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。「生き残ってくれてありがとう。」命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。被爆者の思いを自分ごととして受け止め、自分の言葉で伝えていきます。身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。



令和5年(2023年)8月6日 こども代表

広島市立牛田小学校6年 勝岡 英玲奈 広島市立五日市東小学校6年 米廣 朋留

私たちは「軍隊の廃止」を明記した平和憲法を持つコスタリカに住んでいます。みなさんも平和についてしっかり考えることができる人になってください。2学期は87日間の長丁場です。健康で、元気に頑張りましょう。

- 14日(祝) PTA 環境整備
- 15日(火) 2学期始業式
- 16日(水) 身体測定
- 21日(月) 委員会⑤
- 21日(月)～25日(金) 教育相談週間
- 21日(月)～9月末 茶道教室(全6回予定)
- 28日(月)～ 避難訓練週間(予告なし訓練)
- 29日(火) お誕生日会



- 1日(金) 集金日
- 9日(土) 持久走記録会・授業参観
学級懇談会・宿泊学習説明会
- 11日(月) 振替休業日
- 13日(水) 持久走記録会(予備日)
- 19日(火) 2学期中間テスト範囲発表(中学部)
- 22日(金) クラブ(後期①)
- 26日(火) 職員研修(5時間授業) 下校バス 14:00
- 29日(金) 前期活動報告会
茶道教室(最終)



